

労働者のみなさん、主婦のみなさん、学生、高校生諸君！  
そして首都北部に住み、働くすべての市民のみなさん！

水俣病患者が「会社も、厚生省も、委員会もみんなグルだ。人間の命がそんなに安いなんて」と叫んだのを知っていますか。シージャックの若者が裁判を受けることなくライフルで射殺されたのを知っていますか。ケント大学生が「DEATH NOW」(今すぐ平和を)と叫んで殺されたのを。そして、60年安保で多くの入道が「安保反対、岸を倒せ」と叫んで闘ったのを、榊美智子さんが殺されたのを。

あれから10年…、昭和元祿「日本」の巷に、燃える大学が、沖縄が、新宿が、羽田があったように、今、アジアに、中匈が、ベトナムが、ラオスが、カンボジアが、腐敗し切った世の黒い糸を絶ちきるように赤々と燃え、人民の抑圧者と侵略者をたたきつぶし、解放をもちとる闘いが前進しています。

首都北部の住民のみなさん！  
交通災害はふえる一方です。公害は気がつかぬ内にわたし達の体をむしばんでいます。物価は上りつぱなし、住宅はせまいところにおし込められ、子供の遊ぶ場所さえありません。このように、わたし達の生活を破壊している佐藤内閣は、人民の犠牲の上に、独占資本を肥えふとらせ、第四次防衛計画を実行し、昨年の日米共同声明にもとづいて、沖縄を日本帝国主義者の軍事基地として強化し、アジアへの侵略と反革命の道をさしぐらに進んでいます。そして安保条約期限を6月23日にひかえ、自動延長をたくらんでいます。

みなさん！  
ベトナムのことわざに「厚いミカンの皮をむくには、鋭い指の爪が必要である」というのがあります。ミカンの皮とは腐敗した今の世のことです。鋭い爪とは、わたし達の世直しの手、自由で平等な日本を築くために闘う人達の力です。アメリカ帝国主義をたたきつぶしたベトナム人民のように、アジア人民と連帯してわたし達も立ち上がるではありませんか！

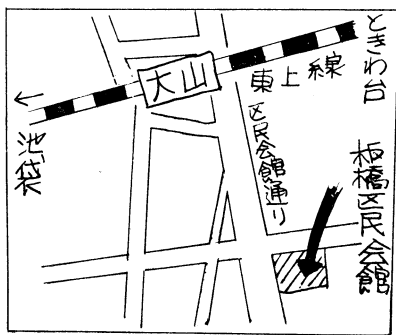
七〇年安保 六月  
日本に、東京に燃える六月を。  
人よ！家を出よう。六月六日。午後五時。  
東上線大山駅下車。板橋区民会館へ。  
炎の六月を、熱っぽい目をした人の渦を。  
手に入るものをすべて武器とし、  
安保をつぶせ、  
佐藤を倒せ、の叫びが六月を！

安保をつぶせ！

# 6・6北部大集会へ！

＝6月決戦勝利＝

らんらん（8-2）8-10



人民よ！  
人民よ！  
人民よ！  
人民よ！  
人民よ！  
人民よ！  
人民よ！  
人民よ！

街に石を  
武器を  
燃やして  
炎を  
六月を

6月6日(土) PM 5時開場  
板橋区民会館 (東上線大山駅下車) あるいは二分

発言予定 反戦兵士 小西誠氏  
華青斗 他

主催・6・6集会実行委

映画「汝、多くの戦友たち」